

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

令和4年度事業報告

令和4年度 事業報告

I. 総括

新型コロナウイルス感染症との共存を強いられた状況は継続し、地域福祉活動への影響を受けましたが、感染対策を十分に講じつつ、様々な創意工夫のもと、多くの地域福祉活動が再開し、活動時間の延長やプログラムの見直し等、従前よりも活発に取り組まれる事例が生まれています。感染症指定の類型が変更される見通しの中、地域福祉活動が再興する機運が高まっており、第4期伏見区地域福祉活動計画を着実に進行する中で、区内の地域福祉活動の振興に努める好機といえます。

法人設立30周年の節目の年である本年は、第70回伏見区社会福祉大会を、コロナ禍以前の内容で開催し、地域福祉の発展に功績のあった方々への表彰、「共に生きる福祉のまち伏見」実現に向けた講演会の開催、区内の地域福祉関係者の交流懇親を図ることができました。

さらに、夏休み期間を活用した青少年の福祉体験事業「ユースアクション2022」、子ども食堂での食事提供を支援する調理研修会「1日クッキングスクール」、子どもや高齢者の居場所づくり運営者を対象とした「情報交換会」の開催等、これまで参集型での開催が困難であった事業も、様々な関係機関・団体の協力で行うことができました。

また、日常生活自立支援事業における成年後見制度への円滑な移行促進や、生活福祉資金貸付事業での償還状況に応じた相談支援の強化、総合相談事業で寄せられた困難ケースへの事務局会議を活用した事例検討および継続的な関わり等を通じて、様々な生活上の課題を抱えた地域住民に対する個別支援事業の質的向上を図りました。

そして、すべての人が支え合いながら共に生きていく地域共生社会を目指すための取組である「kyoto ころつながるプロジェクト」の推進に協力し、「kyoto ころつながるシンポジウム」や「地域福祉推進シンポジウム」の共催、伏見区の魅力を発信し、多様な社会参加のきっかけづくりを意図した参加支援企画である「私の紹介したい伏見区の“ええところ！”」を実施しました。

今後も区内の地域福祉活動を支援し、区社協基盤の確立強化を図るためには、法人の安定的な運営と財源確保に向けた取組が不可欠となります。自主財源である賛助会費実績額の減少が続くなか、幅広い方々から賛同が得られるよう募集活動の現況を把握し、課題改善や実績増強に向けた取組を進めます。

また、共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けて、分野や属性を横断した相談支援・参加支援・地域づくりに向けた支援を一体的に実施する「重層的支援体制」の構築を図りつつ、第4期伏見区地域福祉活動計画の達成に向けた取組を推進してまいります。

II. 重点事業

1. 第4期伏見区地域福祉活動計画の着実な推進

第4期伏見区地域福祉活動計画の中間年となり、前年度に行った学区社協懇談会で行われた課題や意見について共有し、ウイズコロナを意識した学区社協活動のあり方や活動の創意工夫について情報収集を行いました。

また、伏見区地域福祉推進委員会では、様々なネットワークと連携し、社会的孤立やひきこもり、貧困、権利侵害といった困難な課題について理解を図り、地域共生社会の実現に向けた、シンポジウム等を開催しました。

2. 賛助会員募集活動の展開強化

各学区社会福祉協議会を通じて賛助会員募集活動を実施していただいている中で、募集方法等に関する意見や課題についてお聞きし、賛助会員の募集や加入方法等について組織・財政委員会で検討を行う調整を行いました。開催することができませんでした。

また、区社協の安定した運営を継続していくために、引き続き経費節減や支出内容の見直しを徹底することで、収支の健全化を図る取組を推し進めました。

3. オンラインを活用した情報発信等の強化

伏見区社会福祉協議会や伏見区地域福祉推進委員会では、参集型とオンラインを活用したハイブリッド型の地域福祉シンポジウムの開催やホームページを活用した高齢者の居場所情報等の発信を行い幅広い層への情報発信を行いました。シンポジウムでは、社会的孤立や居場所の必要性を報告いただき、参加者同士の意見交換を実施し理解促進を図りました。

4. 総合相談事業における個別支援の強化

区社協に入った相談に継続的に関わっていく中で、地域あんしん支援員設置事業のケース選定や福祉サービスの利用に繋がり、地域で安心して住み続けられるよう個別支援の強化を行いました。

また、京都市社協と連携し、重層的支援体制整備事業を見据えた個別支援のあり方について、各区社協から事例提供を行い、課題の見極めや支援方法等について検討することができました。

Ⅲ. 事業概要

1. 法人運営事業

1) 会務運営事業

〔 成 果 〕

新型コロナウイルスの感染状況に応じて、開催形式を柔軟に対応することで、正副会長会議、理事会・評議員会等の会務運営事業を、計画的に開催し、役員や関係機関・団体、行政機関に対して、法人の活動状況・方針や、地域福祉課題・先進事例等の情報共有を行い、共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けて、役職員一体で取り組むことに努めました。

〔 課 題 〕

賛助会費募集実績が年々減少しており、20年前の約7割の実績となっています。学区社協に対して、募集活動上の現状や課題を意見収集し、実績増強に向けた取組について、組織・財政委員会を中心に協議し、改善を図りながら、地域福祉活動への賛同者を増やしていくことが求められます。

(1) 正副会長会議の開催

開催日	内 容
令和4年5月24日	(1)6月主要日程について (2)理事候補者、参事候補者の選任について (3)評議員候補者の選任について (4)経理規程の改定について (5)福祉のまちづくり事業実施基本細則の改定について
令和4年10月18日	(1)法人設立30周年 第70回伏見区社会福祉大会について (2)区社協会長表彰審査について (3)株式会社 紅中からの車いす寄贈について (4)大京食品 株式会社からの子ども食堂・居場所助成について (5)伏見区社会福祉協議会各委員会開催について (6)令和4年度 伏見区子どもの居場所づくり情報交換会について (7)学区社協活動懇談会の実施について (8)学区社協活動研修会の開催について

令和5年3月10日	<ul style="list-style-type: none"> (1)令和4年度 第2回 理事会について (2)令和4年度 第3回 理事会について (3)令和4年度 第2回 評議員会について (4)令和4年度 第2回 評議員選任・解任委員会について (5)令和4年度 第2回 伏見区地域福祉推進委員会について (6)各会議の役割分担について (7)理事・評議員補充選任に伴う各委員会の委員変更について (8)第71回伏見区社会福祉大会の開催について
-----------	---

(2) 理事会・評議員会・評議員選任解任委員会の開催

①理事会の開催

開催日	内 容
令和4年6月8日	<ul style="list-style-type: none"> (1)参事の委嘱について (2)理事候補の補充選任について (3)評議員の補充選任候補者の推薦について (4)経理規程の改定について (5)令和3年度 事業報告(案)ならびに一般会計収支決算(案)の承認について (6)評議員会の開催について
令和5年3月15日 【書面審議】	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度 第2回評議員会の開催について
令和5年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> (1)令和4年度 一般会計(第一次)補正予算(案)について (2)令和5年度 事業計画・収支予算(案)について (3)理事候補者の補充選任について (4)評議員の補充選任候補者の推薦について

②評議員会の開催

開催日	内 容
令和4年6月23日	<ul style="list-style-type: none"> (1)理事の補充選任について (2)経理規程の改定について (3)令和3年度 事業報告(案)ならびに一般会計収支決算(案)の承認について
令和5年3月29日	<ul style="list-style-type: none"> (1)令和4年度 一般会計(第一次)補正予算(案)について (2)令和5年度 事業計画・収支予算(案)について (3)理事の補充選任について

③評議員選任・解任委員会の開催

開催日	内 容
令和4年6月15日 【書面審議】	<ul style="list-style-type: none"> (1)評議員の選任について

令和5年3月30日 【書面審議】	(1)評議員の選任について
---------------------	---------------

(3) 監事会の開催と中間会計監査の実施

開催日	内 容
会計監査 令和4年5月13日	(1)令和3年度 一般会計決算の監査について
本監査 令和4年5月16日	(1)令和3年度 事業ならびに一般会計決算の監査について
中間会計監査 令和5年1月26日	(1)令和4年度 一般会計の中間監査について

(4) 専門委員会の開催

①ボランティア委員会

開催日	内 容
令和5年2月13日	(1)委員長の選任について (2)令和4年度 伏見区ボランティアセンター中間報告について (3)その他

②生活福祉資金調査委員会

開催日	内 容
令和5年3月6日	(1)委員長の選任について (2)生活福祉資金貸付金延滞利子免除について (3)生活福祉資金貸付事業の現状について (4)その他

※組織・財政委員会、事業推進委員会は、未開催

(5) 理事・監事・評議員等を対象とする研修会の開催

①地域福祉推進セミナー（市・区社協役員研修）の共催

開催日	内 容
令和5年1月23日	<テーマ> 子ども・若者の孤立と孤独 ～ヤングケアラーの現状と課題から～ <講師> 斎藤 真緒 氏（立命館大学 産業社会学部 教授）

(6) 各世帯および企業への賛助会員募集活動の強化による加入促進

①募集期間：令和4年4月～令和5年3月末

②実績額：13,435,651円

2) 企画広報事業

〔 成 果 〕

法人設立 30 周年 第 70 回伏見区社会福祉大会について、コロナ禍以前の内容で企画し、地域福祉の発展に功績のあった方々への表彰、共に生きる「福祉のまち伏見」の実現に向けた講演会の開催、区内の地域福祉関係者の交流懇親を図ることができました。

〔 課 題 〕

「第 4 期 伏見区地域福祉活動計画」の中間評価が未実施のため、次年度の早い時期に、学区社協や関係機関・団体を対象としたヒアリング等により、現況を精査し、活動計画の達成状況を明確にし、未達項目達成に向けた取組を進めます。

(1) 第 4 期 伏見区地域福祉活動計画の推進

各学区社協重点プランについて、学区社協の活動状況等を通じて、現況把握に努めました。また、困難な課題を抱えた地域住民に対する総合相談対応について、事務局会議での事例検討・支援方針の策定等で強化しました。

さらに、区内の各種ネットワーク・諸会議に引き続き参加し、多様な団体・機関と連携し、地域を支える仕組みづくりの構築に努めました。

(2) 法人設立 30 周年 第 70 回伏見区社会福祉大会の開催

開催日	内 容
令和4年11月29日	会 場：ホテル オークラ京都 4 階 「暁雲の間」 第 1 部 式典及び表彰式（参加者211名） (1)表彰状授与・感謝状贈呈 ①社会福祉事業功労者表彰 ②ボランティア・市民活動表彰 ③社会福祉活動協力者（感謝状） (2)大会宣言 第 2 部 車いす受贈式及び感謝状贈呈式（参加者207名） 感謝状贈呈：株式会社 紅中 第 3 部 記念講演（参加者207名） テーマ：共に生き、共に創る「福祉のまち伏見」のまちづくり 講師：橋爪紳也（大阪公立大学 研究推進機構特別教授） 第 4 部 交流懇親会（参加者156名）

(3) 伏見区社協会長表彰審査会の開催【再掲】

開催日	内 容
令和4年10月18日	(1)令和4年度 区社協会長表彰審査について

①区社協会長表彰並びに感謝状の贈呈

地域福祉協議会優良活動表彰（学区社協役員等）	21名
〃（民生委員・児童委員）	78名
〃（老人福祉員）	14名
〃（社会福祉施設役職員）	5名
ボランティア・市民活動表彰（個人）	20名
〃（グループ）	2団体
社会福祉活動協力者感謝状（個人）	4名
〃（グループ）	8団体

②厚生労働大臣表彰への推薦

なし

③全社協会長表彰への推薦

◇社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労者 1名

④市長表彰への推薦

◇社会福祉事業団体関係功労者 2名

⑤市社協会長表彰への推薦

◇地域福祉活動表彰（社会福祉協議会） 1団体

◇社会福祉事業特別功労者表彰（社会福祉協議会役員） 19名

〃（民生委員・児童委員） 6名

〃（老人福祉員） 3名

◇社会福祉事業特別功労者表彰（社会福祉団体役職員） 1名

◇社会福祉事業奉仕活動表彰（ボランティア） 4名・1団体

◇社会福祉活動協力者表彰（感謝状贈呈団体） 1名

（4）広報紙「伏見区社協だより」の発行

発行月	内 容
令和4年4月	内 容：賛助会員募集特別号「賛助会員への加入のお願い」 部 数：約57,000部

（5）ホームページの充実

本会ホームページをリニューアルし、講座・研修開催等の告知や、本会の発行した広報物の掲載を行い、情報発信面を強化しました。

さらに、私の紹介したい伏見区の“ええとこ！”応募作品を、トップページに一定期間掲載することで、伏見区の魅力を発信し、多様な社会参加のきっかけづくりとなる新たな試みを実施しました。

3) 基金運営事業

〔 成 果 〕

なし

〔 課 題 〕

金利状況を注視し、基金果実の還元が見込める金融商品の活用について、検討を行う必要があります。

(1) 基金の造成

①老人福祉基金	22,560,000円	②児童福祉基金	15,785,306円
---------	-------------	---------	-------------

(2) 基金果実の還元

①老人福祉基金	未実施	②児童福祉基金	未実施
---------	-----	---------	-----

2. セーフティネット事業

1) 日常生活自立支援事業

〔 成 果 〕

年度末の統計では契約者数 102 名（認知症高齢者 35 名、知的障害者 33 名、精神障害者 28 名、その他 6 名）となりました。

認知症や障害の症状が進行し、当事業の契約継続が困難になったケースについて、各行政担当課や京都市長寿すこやかセンター、その他の関係機関等とも協議し、成年後見制度へ円滑に移行できるよう対応しました。

さらに、数年ぶりに生活支援員交流研修会を参集型で開催し、生活支援員からの事例報告、グループ協議を行い、支援内容の振り返りや情報共有を図りました。

〔 課 題 〕

利用者を直接支援する生活支援員の確保・養成が課題となっており、養成研修会開催時の広報・周知の強化を図り、研修会受講者の増加および登録者の確保に向けた取組を強化します。また、現任の生活支援員を対象とした交流研修会を継続し、質的向上に努めます。

また、業務を遅滞なく遂行し、安定した契約数の確保、待期者数の削減のため、事務処理面の見直しも適宜図って参ります。

(1) 福祉サービスの利用援助と日常的金銭管理サービス等の実施

①新規契約数および解約数

	認知症	知的障害	精神障害	その他	合計
新規契約数	12	1	5	0	18
解約数	18	1	4	0	23

②契約状況

		相 談 区 分				合 計
		認知症	知的障害	精神障害	その他	
伏見本所・深草	年度当初	25	23	21	2	71
	年度末	20	23	21	2	66
醍 醐	年度当初	16	11	5	4	36
	年度末	15	10	7	4	36
合 計	年度当初	41	34	26	6	107
	年度末	35	33	28	6	102

※その他：認知症の診断や障害者手帳はないものの、判断力に不安がある方

(2) 利用申請者の安定した契約の実施

①利用待機状況

		伏見本所・ 深草	醍醐	合計
待機者数	年度当初	21	10	31
	年度末	18	12	30

(3) 成年後見制度への円滑な連携

認知症や障害の症状が進行し、当事業の契約継続が困難になったケースについて、行政や京都市長寿すこやかセンター、その他の関係機関等とも協議し、スムーズに成年後見制度へ移行できるよう対応しました（令和4年度実績：4件）

(4) 生活支援員の確保・養成

①登録・活動状況

		伏見本所・ 深草	醍醐	合計
登録者数	年度当初	55	17	72
	年度末	55	17	72
活動者数	年度当初	29	10	39
	年度末	30	10	40

(5) 生活支援員交流研修会の開催

開催日	内容
令和4年9月22日	(1)活動報告（生活支援員2名より） (2)グループ懇話会 (3)参加者：生活支援員30名

(6) サービス担当者会議への参加と関係機関との連携

開催日	内容
資料提供 ※コロナのため、 開催形式を変更	対象：深草南部包括支援センター職員 内容：日常生活自立支援事業について

2) 生活福祉資金貸付事業

〔 成 果 〕

教育支援資金の面談や申請件数が全体の約 7 割で、進学を支えるセーフティネットとして、大きな役割を果たしています。貸付後も民生児童委員をはじめとした関係機関・団体と連携し、生活課題を把握した上で、改善に向けて支援しました。

また、借受人等への償還状況通知時、償還相談を勧める案内を同封したことで、多数の相談が寄せられ、償還（滞納）状況に応じた相談支援の強化を図りました。

さらに、特例貸付終了に伴い、若者を中心とした生活困窮者からの相談が相次ぎ、自立相談支援事業や生活保護、各給付制度等へのつなぎを行いました。

〔 課 題 〕

福祉的な相談支援として、利用者の自立につながるよう、民生児童委員や府社協、その他の関係機関と連携を強化し、協働して対応していくことが必要です。事業についての理解を進めるために、適切な事業周知を行うことが求められています。

(1) 生活福祉資金調査委員会

開催日	内 容
令和5年3月6日（月）	(1)生活福祉資金貸付金延滞利子免除について (2)生活福祉資金貸付事業の現状について

(2) 生活福祉資金貸付事業説明会

開催日	内 容
令和4年10月19日（水）	(1)春日丘中学校 保護者会で事業制度説明 (2)内容：教育支援資金貸付制度について (3)対象：春日丘中学校 保護者
令和4年11月2日（水）	(1)栗陵中学校 保護者会で事業制度説明 (2)内容：教育支援資金貸付制度について (3)対象：栗陵中学校 保護者

(3) 生活福祉資金 相談・貸付の状況

資金種別	面 談	申 請	決 定	貸 付	
	件数	件数	件数	決定金額	
総合支援資金	30	3	3	1,650,000	
臨時特例つなぎ資金	—	—	—	—	
福祉	福祉費	315	77	78	21,156,000

資金	緊急小口資金	55	8	6	600,000
	生活復興資金	—	—	—	—
教育支援資金	教育支援費	558	143	135	58,861,000
	就学支度費	571	145	140	50,610,000
不動産担保型生活資金		5	—	—	—
その他		14	—	—	—
合 計		1,548	376	362	132,877,000

3. ボランティアセンター事業

〔 成 果 〕

福祉教育の実施回数が昨年度よりも増加し、講師として多くの団体・組織にご協力いただき、受講者に幅広い知識と価値観を伝達する機会となりました。

数年ぶりにボランティア入門講座を開催し、伏見区ボランティアグループ連絡会（以下、連絡会）の所属団体に講師としてご協力いただき、テーマ別に3日間開催しました。3日間で合計35名の方にご出席いただき、実際にボランティア活動を開始された方もおられました。

〔 課 題 〕

ボランティア入門講座について、連絡会全体で趣旨のすり合わせが十分でなかったため、講座全体のまとまりに欠けました。令和5年度も開催予定のため、連絡会全体で時間をかけて開催趣旨の協議を行います。

福祉教育について、従来の実施テーマに加え、依頼元と打ち合わせのもと、必要に応じて内容の刷新を行います。

現在在籍中の職員で区災害ボランティアセンター設置候補地での動線確認等が未実施のため、関係機関の協力も得ながら実地検証を行います。

(1) ボランティア委員会の開催

開催日	議題
令和5年2月13日	① 令和4年度 伏見区ボランティアセンター中間報告について ② 令和5年度の事業計画について

(2) ボランティアに関する相談及びコーディネート

実施体制	兼任職員3名体制で実施
開設日	窓口・電話相談：月～金（9時00分～17時00分） ※FAX・Eメールによる対応あり

年間件数	523件
内 容	「ボランティアをしたい・してほしい」、地域活動の情報、講座情報、助成金等に関する相談・コーディネートを実施。

①会議室の貸出

貸出件数	297件	延べ利用人数	4,100人
------	------	--------	--------

②備品の貸出

貸出件数	278件（印刷機器 106件 その他機材 172件）
貸出物品	車イス、プロジェクター、スクリーン、コンパクトスピーカー、パソコン、印刷機、丁合機、紙折機

(3) ボランティア保険の取扱いと加入促進

ボランティア保険	211団体・2,242名	行事保険	157件・9,681名
----------	--------------	------	-------------

(4) 地域における福祉教育・ボランティア学習推進事業の実施

①青少年の福祉体験事業「ユースアクション2022」の実施

開催日	内 容
令和4年8月20日	昔遊びで国際交流！ 【協力機関】伏見青少年活動センター 【参加者】1名
令和4年8月25日	みんなでクッキング！&レクレーション&ミニシアター 【協力機関】障がい児・者ホームヘルプ事業「ゆうりん」 【参加者】1名

②地域での「福祉教育」「ボランティア学習事業」の推進

開催日	内 容
令和4年6月28日	東稜高校「車いす体験」 【対象】東稜高校2年生（31名）
令和4年 9月13日・14日・ 27日 10月5日・19日・ 25日・26日	京都聖母学院高校「福祉教育」 【対象】京都聖母学院高校2年生（22名） 京都聖母学院高校3年生（24名） 【協力】深草学区社会福祉協議会 深草学区民生児童委員協議会

	深草中部地域包括支援センター 京都市長寿すこやかセンター 若年性認知症当事者 京都市地域リハビリテーション推進センター 伏見区ボランティアグループ連絡会（所属4団体）
令和4年12月5日	神川小学校「車いす体験」 【対象】 神川小学校4年生（約60名） 【協力】 京都市伏見障害者授産所
令和4年12月7日	稲荷小学校「認知症サポーター養成講座・車いす体験」 【対象】 稲荷小学校4年生（24名） 【共催】 深草北部地域包括支援センター
令和4年12月12日	砂川小学校「車いす体験授業・事後学習」 【対象】 砂川小学校4年生（62名） 【共催】 深草北部地域包括支援センター

③地域支え合い活動創出事業と連携したボランティア講座の実施

開催日	内 容
令和4年6月21日	【内容】 地域で支え合う活動について 【対象】 伏見区ボランティアグループ連絡会
令和4年 11月10日・11 日・16日	伏見区ボランティア入門講座 【内容】 地域で支え合う活動について ボランティア活動で大切なことって？ 10日：聴覚に障がいがある方への支援 11日：視覚に障がいがある方への支援 16日：高齢者・障がいがある方への支援 【協力】 伏見区ボランティアグループ連絡会

(5) 伏見区災害ボランティアセンターの基盤整備

①伏見区総合防災訓練への参加

開催日	内 容
令和4年12月11日	【場所】 京都市立神川中学校 【内容】 伏見区災害ボランティアセンターマニュアルに 基づいた設置・運営訓練 伏見区災害ボランティアセンターの周知・啓発

(6) 伏見区ボランティアセンターだより「ボランティアF」の発行【各 500 部発行】

発行月	内 容
令和4年5月	伏見区ボランティアセンターよりお知らせ
令和4年10月	伏見区ボランティアセンターよりお知らせ 伏見区ボランティアグループ連絡会 令和4年度研修会 実施報告
令和5年2月	伏見区ボランティア入門講座 開催報告 京都聖母学院高校 福祉教育 実施報告

(7) 伏見区ボランティアグループ連絡会との連携強化

①運営連絡会の開催

開催日	内 容
令和4年4月19日	(1) 令和4年度役員（代表・副代表・会計）及び部会編成 （広報・研修）について (2) 令和3年度事業報告及び令和4年度事業計画について （最終確認） (3) 令和3年度決算報告及び令和4年度予算(案)について (4) 各グループの活動状況について (5) 伏見区社協からの連絡事項
令和4年5月17日	(1) 各部会 開催報告 (2) 各グループの活動状況について (3) 伏見区社協からの連絡事項
令和4年6月21日	(1) 部会報告 (2) 各グループの活動状況について (3) 伏見区社協からの連絡事項
令和4年7月19日	(1) 納涼祭について (2) 各グループの活動状況について (3) 伏見区社協からの連絡事項
令和4年9月20日	(1) 納涼祭の報告と感想について (2) 広報誌「伏見のわ」発行について (3) 秋の研修交流会（散策）について (4) ボランティア福祉展について (5) 各グループの活動状況について (6) 伏見区社協からの連絡事項
令和4年10月18日	(1) 部会報告 (2) 秋の研修交流会について (3) 新年研修交流会について

	(4) 各グループの活動状況について (5) 伏見区社協からの連絡事項
令和4年11月15日	(1) 部会報告 (2) 福祉ボランティア展について (3) 秋の研修交流会について（申込状況等確認） (4) 役員新年会について (5) 各グループの活動状況について (6) 伏見区社協からの連絡事項
令和5年1月17日	(1) 部会報告 (2) 福祉ボランティア展の報告 (3) 秋の研修交流会の報告 (4) 各グループの活動状況について (5) 伏見区社協からの連絡事項 ※会議終了後、新年交流会を実施
令和5年2月15日	(1) 部会報告 (2) 「伏見の『わ』」の発行について (3) 来年度の事業計画について (4) 各グループの活動状況について (5) 伏見区社協からの連絡事項
令和5年3月28日	(1) 部会報告 (2) 令和4年度事業報告（案）及び決算（案）について (3) 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について (4) 令和5年度役員（代表・副代表・会計）について (5) 各グループの活動状況について (6) 伏見区社協からの連絡事項

※その他、広報部会、研修部会を必要に応じて随時開催

②懇談会、研修・交流事業

開催日	内 容
令和4年11月24日	秋の研修交流会(宇治散策)

③伏見区ボランティアグループ連絡会だより「伏見のわ」発行【各号 500部発行】

発行月	内 容
令和4年5月 第43号	・伏見区ボランティアグループ連絡会 令和4年度役員から のご挨拶 ・ボランティア活動訪問記（京都YMCAこおろぎ）
令和4年10月	・納涼祭

第44号	・令和4年度 ボランティア入門講座開催のお知らせ ・福祉ボランティア活動展開催のお知らせ
令和5年2月 第45号	・秋の研修交流会 実施報告

(8) 京都市福祉ボランティアセンターとの連携強化

<ul style="list-style-type: none"> ・京都市福祉ボランティアセンター発行の広報誌「ボランティアーズ京都」配架 ・区社協主催講座で京都市福祉ボランティアセンター主催の講座情報を案内 ・災害時要配慮者支援研修「災害に強い地域づくりを目指して私たちができること」を共催

(9) 知恵シルバーセンター事業への協力

- ・相談受付時に随時対応（令和4年度実績：1件）

4. 健康すこやか学級事業

〔 成 果 〕

前年度に引き続きコロナ禍の中、健康すこやか学級事業を再開される学区がさらに増え、これまで活動を縮小していた学区についても、感染対策を講じながら開催時間の延長や内容の充実をめぐるなど、少しずつ以前の形態を取り戻している状況です。

健康すこやか学級活動交流会のクラフト講習会は、学区での準備期間において余裕をもてるよう、例年よりも実施時期を早めました。講習会の内容を多数の学区で実施いただき、学区の広報誌にもその様子が掲載される等、高評価をいただきました。

〔 課 題 〕

コロナウイルスの感染症法上の類型変更にともない、健康すこやか学級事業における今後の指針についても見直しが予想されます。そのような中で、状況に応じて健康すこやか学級事業の活性化に向けた支援を継続できるよう努めます。

また活動交流会について、前年度はクラフト講習会のみ実施しましたが、運営者の方々から他学区の実施状況やレクリエーションに関するご相談をいただくため、クラフト講習会に加え、別テーマでも開催します。

(1) 健康すこやか学級事業の支援

①健康すこやか学級事業の実施回数

実施学区社会福祉協議会		令和4年度	令和3年度
深草	稲荷学区社会福祉協議会	9	2
	砂川学区社会福祉協議会	21	11
	深草学区社会福祉協議会	44	35

実施学区社会福祉協議会		令和4年度	令和3年度	
	藤森学区社会福祉協議会	51	25	
	藤城学区社会福祉協議会	22	22	
伏見	住吉学区社会福祉協議会	40	16	
	板橋学区社会福祉協議会	38	30	
	南浜学区社会福祉協議会	36	18	
	桃山学区社会福祉協議会	22	16	
	桃山東学区社会福祉協議会	0	0	
	桃山南学区社会福祉協議会	8	0	
	下鳥羽社会福祉協議会	49	30	
	横大路学区社会福祉協議会	0	0	
	納所社会福祉協議会	29	14	
	向島学区社会福祉協議会	5	2	
	向島南学区社会福祉協議会	17	13	
	二の丸北学区社会福祉協議会	12	7	
	二ノ丸学区社会福祉協議会	11	2	
	藤ノ木学区社会福祉協議会	5	0	
	久我地区社会福祉協議会	50	36	
	羽束師地区社会福祉協議会	13	2	
	淀学区社会福祉協議会	34	19	
	淀南学区社会福祉協議会	93	62	
	醍醐	北醍醐学区社会福祉協議会	37	25
		醍醐西学区社会福祉協議会	13	4
醍醐学区社会福祉協議会		30	1	
池田学区社会福祉協議会		43	12	
池田東学区社会福祉協議会		8	2	
小栗栖学区社会福祉協議会		11	6	
小栗栖宮山学区社会福祉協議会		17	15	
日野学区社会福祉協議会		44	21	
春日野学区社会福祉協議会		24	14	
合計		836	462	

(2) 健康すこやか学級事業活動助成の交付

健康すこやか学級事業開催30学区に対して、6,777,000円を交付しました。

(3) 健康すこやか学級活動交流会の開催

開催日	場所	内容
令和4年10月24日	伏見社会福祉総合センター	クラフト講習会
令和4年10月28日	醍醐消防分署講堂	クラフト講習会
令和4年11月2日	伏見社会福祉総合センター	クラフト講習会

5. 地域支援事業

〔成果〕

新型コロナウイルス感染症が少しずつ収束に向かっており、各学区社会福祉協議会では、ウイズコロナに向けた地域福祉活動のあり方を検討し、創意工夫のもと、「福祉のまちづくり事業」を中心に、積極的に実施していただくことができました。

特に、ふれあう活動の中の地域交流活動や健康すこやか学級事業では、前年度に比べて実施回数が約2倍となり、コロナ禍以前の数字に近づいてきており、住民同士が交流する機会が増えてきています。

〔課題〕

コロナ禍で活動を休止していた学区社会福祉協議会が、活動を再開される中、活動場所や担い手、参加者が集まらない等、運営上の課題についてお聞きし、そういった課題に対して、学区社協関係者と一緒に解決に向けて支援していく必要があります。

また、学区社協活動の運営を支えるために「福祉のまちづくり事業」の助成要綱に基づき、適切な運用を目指した説明を継続して行ってまいります。

(1) 学区社会福祉協議会会長会議の開催

開催日	内容
令和4年6月23日	(1) 避難行動要支援者名簿協定について (2) 健康すこやか学級事業について (3) 学区社協活動懇談会報告について

(2) 福祉のまちづくり事業の推進

事業項目			実施学区数
学 び あ う	研修・学習活動	主催研修の開催	8
		外部研修への参加	30
	広報・啓発活動	広報紙の発行	21
	実態把握・調査活動	住民懇談会等の実施	16

ふれあう	交流・仲間づくり活動	地域交流活動	19
		居場所づくり・当事者サロン活動	23
支え合う	在宅福祉サービス活動	寝具クリーニングサービス	19
		ふれあい配食サービス	5
		健康すこやか学級	30

(3) 学区社協活動助成の交付

① 基本助成	2,720,000 円	② 活動助成	9,610,110 円
③ 賛助会費配分	7,389,609 円	合計	19,719,719 円

(4) 学区重点プランの推進支援

学区社協会長会議において、学区社協が抱えている課題の共有行い、学区重点プランの達成に向け、学区社協活動への参加を行いました。

(5) 学区が実施する研修会等への支援

学区社会福祉協議会から、コロナ禍の中での地域福祉活動や災害に関連した活動等についての研修企画等の支援を行いました。

(6) 学区社協活動研修会の開催

開催に向けた調整を行いましたが、開催することができませんでした。

(7) 学区社協活動懇談会の開催

開催に向けた調整を行いましたが、開催することができませんでした。

(8) 未設立学区における組織化への支援

学区	内容
竹 田	地域ケア会議に参画し、顔の見える関係の構築を図っている。
久我の杜	民生児童委員協議会との協働を綿密に図っている。
石 田	民生児童委員協議会との協働を綿密に図っている。

6. 生活支援事業

〔 成 果 〕

地域あんしん支援員設置事業は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の影響が小さくなったこともあり、積極的な寄り添い支援によって課題が解決し支援終結となったケースなど、多くのケースで支援の前進が見られました。

また今年度は、区社協に入った相談に継続的に関わっていく中でケース選定につながるなど、区社協内外との連携という面でも成果が見える一年になりました。

地域支え合い活動創出事業は、コロナ禍においても、連絡会議や実務者会議等を開催し、繋がりが途切れることのないよう関係機関との情報共有、相談等を行いました。そして、関係機関と協力し、買物支援のサービス創出ができました。

〔 課 題 〕

地域あんしん支援員事業への理解度について、関係機関によってばらつきがみられるため、事業周知については引き続き進めて参ります。また、区社協内の他業務担当職員との連携もさらに強化していきたいと考えております。

一方、地域支え合い活動創出事業は、コロナウイルス感染拡大の影響を色濃く受け、活動を休止している高齢者サロン(居場所)が多くあることがわかりました。情報交換会等を通し、お互いの活動を知ることのできる機会の創出を行います。

(1) 地域あんしん支援員設置事業への協力

①新規選定および終結件数

	伏見本所	深草	醍醐	合計
新規選定	2	0	4	6
終結	4	2 (対象外1件、終結1件含む)	1	7

②支援状況

	伏見本所	深草	醍醐	合計
年度当初	9 (経過観察2件、予備調査2件含む)	9 (予備調査4件含む)	7	25
年度末	7 (予備調査2件含む)	7	10 (経過観察1件含む)	24

③選定会議

保健福祉センターを含む関係機関、区社協等から支援候補となるケースを挙げ、支援の必要性や優先度、寄り添い支援の有効性を考慮し、ケースを選定しました。

伏見 本所	令和5年2月24日(候補2ケースのうち、2ケース選定)
深草	開催なし
醍醐	令和4年6月16日(候補1ケースのうち、1ケース選定) 令和4年9月16日(候補2ケースのうち、2ケース選定) 令和4年12月28日(候補1ケースのうち、1ケース選定)

④支援会議

支援ケースについて、解決すべき課題の確認、関係機関の役割分担の明確化、支援方針の決定を目的に、支援会議をおこないました。

伏見 本所	令和4年6月13日(支援方針の決定2ケース、見直し2ケース) 令和4年12月6日(支援方針の見直し2ケース) 令和5年2月24日(終結の確認1ケース)
深草	令和4年6月21日(支援方針の決定3ケース、見直し3ケース、対象外の確認1ケース) 令和5年1月13日(支援方針の見直し1ケース)
醍醐	令和4年5月17日(支援方針の決定1ケース) 令和5年1月18日(支援方針の決定3ケース) 令和5年3月9日(支援方針の決定1ケース)

⑤定期支援会議

全ケースについて支援の進捗状況を確認し、支援が膠着しているケースについては、支援方針の見直し、終結、経過観察の判断をおこないました。

伏見 本所	令和4年6月13日 (支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、経過観察の確認、終結の確認) 令和4年12月6日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し)
深草	令和4年6月21日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し) 令和5年1月13日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、終結の確認)
醍醐	令和4年5月17日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、経過観察の確認) 令和5年3月9日(支援ケースの進捗確認、支援方針の見直し、経過観察の確認、終結の確認)

⑥支援ケースの概要

	対象者	世帯状況	課題	支援期間	終結の有無
伏見 本所	30代女性	2人世帯(母)	不衛生な生活環境 引きこもり その他(新しい生活環境の安定)	5年7ヶ月	終結

	50代男性	単身	不衛生な生活環境	5年7ヶ月	継続
	30代女性	4人世帯 (両親、弟)	不衛生な生活環境 就労 引きこもり	5年7ヶ月 (世帯間で 対象者変更)	継続
	50代女性	3人世帯 (母、弟)	引きこもり	4年5ヶ月	終結
	70代男性	単身	不衛生な生活環境 利用拒否 孤立	3年8ヶ月	継続
	20代男性	2人世帯 (妹)	就労 孤立 その他(金銭管理)	1年9ヶ月	終結
	40代男性	単身	利用拒否 孤立 その他(金銭管理)	1年8ヶ月	終結
	30代女性	2人世帯 (母)	不衛生な生活環境 利用拒否 孤立	1年2ヶ月	継続
	50代女性	単身	利用拒否 孤立 困窮	1年2ヶ月	継続
	70代女性	単身	予備調査中	1カ月	継続
	30代男性	単身	予備調査中	1ヶ月	継続
深草	40代男性	単身	就労支援 引きこもり	3年8ヶ月	継続
	30代男性	2人世帯 (母)	利用拒否 引きこもり	2年8ヶ月	継続
	70代男性	単身	ごみ堆積 利用拒否 その他複合多問題	2年	継続
	80代女性	単身	課題設定なし	7ヶ月	対象外
	80代女性	単身	ごみ堆積 利用拒否 孤立	1年1ヶ月	終結
	80代女性	単身	ごみ堆積	1年4ヶ月	継続

			利用拒否		
	20代女性	2人世帯 (母)	利用拒否 孤立 その他(収支管理)	1年4ヶ月	継続
	40代女性	単身	引きこもり 不衛生な生活環境	8年6ヶ月	継続
	20代女性	3人世帯 (母・弟)	利用拒否 就労	4年8ヵ月	経過 観察
醍醐	10代男性	3人世帯 (母・姉)	孤立 複合多問題	3年5ヶ月	継続
	30代男性	3人世帯 (両親)	就労 引きこもり	2年8ヶ月	終結
	40代男性	単身	就労 引きこもり	2年6ヶ月	継続
	50代男性	単身	利用拒否 生活困窮	1年10ヶ月	継続
	70代女性	単身	利用拒否 孤立	1年3ヶ月	継続
	70代女性	3人世帯 (夫・子ども)	ごみ堆積 孤立	9ヶ月	継続
	50代女性	3人世帯 (夫・子ども)	孤立 生活困窮 複合多問題	6ヶ月	継続
	40代女性	2人世帯 (父)	就労 孤立	6ヶ月	継続
	10代女性	2人世帯 (父)	困窮 その他(生活自立)	3ヶ月	継続

(2) 地域支え合い活動創出事業への協力

①生活支援サービス創出の企画・支援

地域支え合い活動調整会議(連絡会議)の運営	
説明	地域住民、関係機関、福祉事業所、専門職集団、医療機関、区役所担当部局の代表に参加いただき、本事業を説明・報告する会議です。ここで出された意見を参考に、事業の運営、生活課題の選定を行います。
深草	第1回：令和4年6月16日(木) *コロナウイルス感染拡大の為、書面開催 第2回：令和4年11月10日(木) *コロナウイルス感染拡大の為、書面開催 第3回：令和5年3月23日(木) *オンライン開催

本所	第1回：令和4年6月9日（木） *コロナウイルス感染拡大の為、書面開催 第2回：令和4年11月10日（木） *コロナウイルス感染拡大の為、書面開催 第3回：令和5年3月9日（木）
醍醐	第1回：令和4年6月29日（水） 第2回：令和5年2月22日（水）

②地域支え合い活動調整会議（実務者会議）の運営

説明	連絡会議や地域ケア会議等が出た意見を基に、区・支所ごとに「生活課題」を選定し、具体的な解決に取り組みます。
深草	取組：稲荷学区のうち、山手地域に在住する住民、とりわけ高齢者が買い物に行くことが困難になっている状況を解決するため、学区内の高齢者施設である特別養護老人ホームヴィラ稲荷山の設置者である社会福祉法人京都悠仁福祉会の協力を得て買い物バスの運行を開始することが出来た。
本所	取組：羽束師学区において、大型店舗の進出により近くの商店が衰退し、高齢者が買い物しやすい店舗が減った。生協の協力を得て、移動販売を開始することができた。 買い物ができる為のツールにとどまらず、出会いの場・居場所・見守りの場としてのコミュニティの場としての活用を目指して地域の活性化を図ることができた。
醍醐	取組：住民同士の交流・外出の機会の提供、地域の社会資源の見える化を目的に「醍醐ふれあいトレジャーウォーキング」を開催。イベント参加を通じて住民同士の繋がり、コース記載の施設の利用や活動参加に繋がった。 取組②：「醍醐ふれあい・支え合いマップ第3弾」を作製し、高齢分野の地域資源について可視化することができた。

③生活支援の担い手養成

各区共通 地域支え合い活動入門講座「標準型」	
深草	第1回：令和4年8月30日（火）
本所	第1回：令和4年8月30日（火）
醍醐	第1回：令和4年9月6日（火）

区独自 地域支え合い活動入門講座「独自型」	
第1回（本所・深草・醍醐管内）	
日時	令和4年6月21日（火）11:00～12:00
場所	伏見社会福祉総合センター 会議室

内容 「地域で支え合う活動について」
「支え合いゲーム」
<参加団体>伏見区ボランティアグループ連絡会

区独自 地域支え合い活動入門講座「フォローアップ型」

第1回 深草
日時 令和4年11月10日(火) 13:30~16:15
場所 伏見社会福祉総合センター 会議室
内容 「地域で支え合う活動について」
「ボランティア活動で大切なことって何？」
「要約筆記講座」
「友達サークルの紹介(手話ボランティア)」

区独自 地域支え合い活動入門講座「フォローアップ型」

第1回 醍醐
日時 令和4年11月11日(金) 14:00~15:30
場所 醍醐消防分署 講堂
内容 「ボランティアグループ活動紹介」
「地域で支え合う活動について」
「ボランティア活動で大切なことって何？」

区独自 地域支え合い活動入門講座「伏見区ボランティアグループ連絡会対象」

第1回 本所
日時 令和4年11月16日(水) 14:00~15:30
場所 伏見社会福祉総合センター 会議室
内容 「ボランティアグループ活動紹介」「地域で支え合う活動について」
「ボランティア活動で大切なことって何？」

④関係者のネットワーク化

1) 情報交換会の開催

伏見区地域支え合い活動の推進に関する高齢分野等の情報交換会の開催

第1回(本所・深草管内)
日時 令和4年5月21日(土) 14:00~15:30
場所 藤森神社参集殿(zoom併用)
内容 『とまり木休憩所&おでかけベンチ それぞれの取組紹介』
○とまり木休憩所<<藤森・藤城>>(永野氏)、おでかけベンチ<<深草>>(三林氏、勝部氏)、協働プロジェクト(永野氏)、

『講演 まちのベンチいろいろ』

○大阪工業大学 吉田哲先生

『交流会・意見交換』

○ベンチ活動実践者の声、インタビュー動画視聴

<参加団体>生活支援サービス【通所型】提供団体 13 団体

第 1 回（深草管内）

日時 令和 4 年 5 月 20 日（金）14:00～15:00

場所 深草東児童公園

内容 『みんなで体験！新しい生活様式での“高齢者サロン”のかたち』

○空手演舞：株式会社三笑堂 清水さつき氏

○屋外での体験：日々の暮らしで実践できる健康に関する身体の使い方など、清水氏より紹介【空手の型、呼吸法、姿勢など】

『実践者交流会！参加者同士、情報交換しましょう！』

○コロナ禍での工夫（居場所を開催するためにどのような準備をしたら良い（またはしている）のか）

○メンバーのモチベーション維持について（メンバーへの働きかけなど、グループ運営の工夫）

『地域支え合いコーディネーターより情報提供』

○サロン実践者が活用できる助成金情報などご紹介

<参加団体>高齢者サロン実施団体 5 団体

第 2 回（深草管内）

日時 令和 4 年 11 月 22 日（火）14:00～15:30

場所 京エコロジーセンター

内容 『高齢者サロン運営者の情報交換会』

①Youtube 視聴（他府県のコロナ禍での取組紹介）：高齢者向けサロンの各地での取組みの工夫を紹介

②他区の取組み紹介から学ぶ：伏見区地域支え合い活動創出コーディネーター大槻より紹介

③レクリエーション講座：レクリエーションインストラクター初田氏によるサロンで使えるレクの紹介、体験

④質疑応答（情報交換）

<参加団体>高齢者サロン実施団体 8 団体

第 1 回（醍醐管内）

日時 令和 5 年 2 月 27 日（月）10:00～11:30

場所 伏見区役所深草支所 4 階第 2・3 会議室

内容 「高齢者の居場所に関する情報交換会」

○講義「高齢者の居場所活動について つながり続けるために」

講師：京都市社会福祉協議会 地域支援部

○情報交換・グループワーク

<参加団体>高齢者サロン実施団体7団体

2) 地域共生社会を見据えた各種会議への参画

多世代多分野における情報交流の場「ふかくしゃべり場」の実施

日 時 月 1回第3水曜 15:00~16:00 (年12回実施)

場 所 ふかふか家

参加者 高齢分野、障害分野、子育て分野等世代分野を越えた団体

地域住民のだれもが外出しやすいまちづくりを目指したプロジェクト「とまり木ベンチ休憩所実行委員会」への参画

日 時 月 1回午後 (年10回実施)

場 所 墨染まちとくらしセンター

参加者 藤森・藤城学区各種団体、深草南部地域包括支援センター等

高齢者、障害者をはじめとする外出しにくい方々が参加できる取組創出のネットワーク会議「団地カフェ実行委員会」の開催

日 時 月 1回第3金曜 10:00~11:00 (実行委員会：年6回実施)

場 所 むかちゅうセンター (向島中学校跡地)

参加者 地域住民、愛隣館、あじさい苑、向島地域包括支援センター、京都府リハビリテーションセンター

[団地カフェの開催 令和4年6月13日(月) 11:00~14:00 参加者66名

令和4年11月14日(月) 11:00~14:00 参加者60名

高齢者の新たな居場所創出を目指すネットワーク会議「みなネット」の共同運営

日 時 月 1回第4木曜 14:00~15:30 (年9回実施)

場 所 伏見区社協・オンライン(zoom)

参加者 南浜学区各種団体、介護保険事業所、下鳥羽地域包括支援センター等

深草サロン交流会・打合せ

日 時 月 1回 (年12回実施)

場 所 オンライン(zoom)

参加者 深草北部地域包括支援センター、深草中部地域包括支援センター

⑤地域のニーズと資源の見える化

- 1) 地域アセスメント基礎情報シートの更新
- 2) 健康すこやか学級研修会において再開状況のヒアリング
- 3) 居場所運営団体に向けて居場所再開時の支援情報提供
- 4) 関係機関と連携し事例集やつながりあえる冊子、マップの作成
・「歩いて暮らせるまちづくり」

<連携先>とまり木休憩所・おでかけベンチ協働プロジェクト実行委員会
京都市伏見区役所深草支所

- ・通いの場の情報発信をホームページに掲載
- ・醍醐ふれあい・支え合いマップ第3弾作成

<連携先>醍醐支所健康長寿推進課、

醍醐北部地域包括支援センター、醍醐南部地域包括支援センター、
深草醍醐地域介護予防推進センター、醍醐いきいき市民活動センター

⑥その他の取り組み

- 1) 地域の居場所やサロンでの研修実施、情報提供
- 2) 京都生協との情報交換の実施
- 3) 京都SKYセンターボランティア活動見本市への協力

(3) チャレンジ就労体験事業の推進<市社協連携>

種別	受入施設
障 害	福祉工房 P&P 就労継続支援事業所 キャッチアップ 京都市ふしみ学園 京都市伏見障害者授産所 愛隣デイサービスセンター 京都フレンドリーハウス醍醐作業所 京都市だいが学園 モーツアルト七瀬川つつみ B型支援事業所カイコウG
高 齢	特別養護老人ホーム フジの園 特別養護老人ホーム みやびのその デイサービスセンターみやびのその ケアハウス プラスしこうえん 高齢者福祉施設 久我の杜 特別養護老人ホーム 同和園 伏見老人デイサービスセンター 醍醐老人デイサービスセンター 伏見老人福祉センター 醍醐老人福祉センター
児 童	春日野児童館 藤森竹田児童館 醍醐中央児童館 辰巳児童館
その他	京都生活協同組合 コープ桃山店 京都生活協同組合 コープ醍醐石田店

	ワーカーズコープ 京都地域福祉事業所 伏見中央図書館 醍醐中央図書館		
	深草	本所	醍醐
利用者数	11	21	9

(4) 企業との連携による見守り活動<市社協連携>

対応日	内容
令和4年4月8日	京都生協からの通報 安全確認ができたため、対応完了
令和4年6月3日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和4年7月12日	京都生協からの通報 安全確認できたため、対応完了
令和4年8月15日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和4年9月7日	京都生協からの通報 自宅で亡くなっていたことを確認した
令和4年10月4日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和4年11月22日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和4年12月7日	京都生協からの通報 自宅で亡くなっていた事を確認した
令和4年12月15日	京都生協からの通報 入院中であることを確認し、対応完了
令和4年12月21日	京都生協からの通報 安全確認ができたため、対応完了
令和5年1月26日	京都生協からの通報 安全確認ができたため、対応完了

(5) よりそい支援員設置事業への協力

区役所・支所が主催する「ひきこもり支援調整会議」において、よりそい支援員が担当する事例検討への参加や、区内の社会資源に関する情報提供を行いました。

(6) オレンジカフェ伏見（認知症支援事業）の開催

新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催することができませんでした。

7. 地域福祉ネットワーク事業

〔 成 果 〕

地域福祉推進委員会では、地域共生社会の実現に向けて、社会的孤立や生きづらさを抱える方に焦点をあて、「kyoto ころつながるシンポジウム」や、「地域福祉推進シンポジウム」の開催を通じて、地域や関係者への普及啓発、理解促進に努めました。さらに、地域福祉推進委員会ホームページ掲載の相談窓口や社会資源情報を追加し、最新の情報に更新しました。

オンライン開催された諸会議も数多くありましたが、保健、医療、教育等の様々な会議に積極的に参加し、ネットワーク強化に努めました。

〔 課 題 〕

国によるコロナ対応が収束に向けて動いており、この間、活動自粛されていた社会福祉施設の地域公益的取組について、現状把握し、情報発信していく必要があります。

(1) 伏見区地域福祉推進委員会の開催

①委員会の開催

第1回 伏見区地域福祉推進委員会	
開催日	令和4年6月8日(水)
内 容	(1) 令和3年度事業報告と決算について (2) 令和4年度事業計画と予算について
会 場	京都市醍醐交流会館 第1・2会議室
第2回 伏見区地域福祉推進委員会	
開催日	令和5年3月29日(水)
内 容	(1) 令和4年度主な取組事業紹介について (2) 令和5年度事業計画(案)と予算(案)について
会 場	京都市呉竹文化センター 創造活動室

②地域福祉推進シンポジウムの開催

開催日	令和4年10月6日(木)
事業名	「障がい児者の地域生活を考える伏見区民のつどい・2022」
内容等	テーマ：下手くそやけどなんとか生きてるねん。 薬物・アルコール依存症からのリカバリー 【基調講演】 講 師 リカバリハウス 渡邊 洋次郎 氏 【シンポジウム】

	進 行 イマジン 中西 昌哉 氏 登壇者 京都ダルク 加藤 真一 氏 京都市福祉ボランティアセンター 田中 聖 氏 京都マック 榎原 節子 氏
会 場	伏見区総合庁舎 1 階ホール
参加者	学区社協役員、民生児童委員、関係機関、当事者 他 87 人

開催日	令和 4 年 1 0 月 1 4 日 (金)
事業名	Kyoto ころろつながるシンポジウム 一人ひとりが安心できる、開かれた居場所づくり
内容等	【第 1 部】 ライブ配信によるシンポジウム視聴 一人ひとりが安心できる、開かれた場とは ～キーワードは「参加」～ 同志社大学社会学部 教授 永田 祐 氏 トークセッション 聴き手 同志社大学社会学部 教授 永田 祐 氏 語り手 「フリースペースみんなの家★山科 アルモンデ」 山科区・安朱学区社会福祉協議会 会長 中澤 博子 氏 「ハピネス子ども食堂、ハピネスカフェ、ハピネスハウス」 特定非営利活動法人 happiness 理事長 宇野 明香 氏 【第 2 部】 シンポジウムを視聴しての意見交換会
会 場	本所・深草；呉竹文化センターホール 醍醐；京都市醍醐交流会館第 1・第 2 会議室
参加者	学区社協役員、民生児童委員、関係機関 他 38 人

開催日	令和 4 年 11 月 29 日 (火)
事業名	令和 4 年度 伏見区地域福祉推進講演会
内容等	テーマ：共に生き、共に創る「福祉のまち伏見」のまちづくり 講 師：大阪公立大学 研究推進機構 特別教授 橋爪 紳也 氏
会 場	ホテルオークラ京都 4 階 暁雲の間
参加者	学区社協役員、民生児童委員、関係機関 他 207 人

③相談窓口や社会資源情報の収集・整理と発信

地域福祉推進委員会福祉情報ページを作成し、高齢・児童・障害区分別に、相談窓口や社会資源情報等の福祉に関する情報を掲載しました。

④社会福祉施設の地域公益的取組の把握・発信等

伏見区地域支え合い活動創出コーディネーターと連携し、買い物支援において高齢者施設の地域公益的取組に関する事例を把握することができました。

⑤オンラインを活用した情報交流の推進

伏見区地域福祉推進委員会構成団体をホームページを活用した相談窓口を開設し多様な相談に対応しました。また、高齢者の居場所情報等の社会資源情報を追加し、情報発信を行いました。

(2) 南部・東部障害者地域自立支援協議会への参画

- ①運営会議・全体会議への参加
- ②地域懇談会の協力（南部・東部障害者地域自立支援協議会）
- ③災害対策部会、事務局会議等の開催

(3) 関係団体・施設の連絡会議等への参加・連携

- ①伏見・深草・醍醐地域包括支援センター運営協議会および運営会議への参画
- ②地域包括支援センターとの連携および地域ケア会議への参加
- ③伏見地域、深草・醍醐地域介護予防推進センターとの連携強化
- ④伏見・深草子どもネットワークおよび醍醐子育て支援ネットワークへの参加
- ⑤伏見区こころの健康ふれあいネットワークへの参画

(4) 子どもの居場所づくり「支援の輪」サポート事業への協力

開催日	令和4年10月6日（木）
事業名	1日クッキングスクール
内容等	講師 ラ・キャリエールクッキングスクール ・子ども食堂で実施可能なメニューの紹介、デモンストレーション ・参加者による調理（カレーピラフ・タコライス・フレンチトースト）
会場	ラ・キャリエールクッキングスクール
参加者	子どもの居場所運営団体、学区社協役員、関係機関 他 18人

開催日	令和4年12月8日（木）
事業名	令和4年度 伏見区子どもの居場所づくり情報交換会
内容等	第1部 情報交換会 第2部 気がかりな子どもに気づくポイント 講師 京都市醍醐中央児童館館長 鳥山 順子 氏 伏見区役所保健福祉センター子どもはぐくみ室係長 山脇 智代 氏
会場	伏見区総合庁舎1階ホール
参加者	子どもの居場所運営団体、学区社協役員、関係機関 他 10人

8. 共同募金配分金事業

〔 成 果 〕

関係団体やボランティアグループへの助成金の使途や事業の効果等を検証したうえで、活動継続にあたって必要な支援をより早期に行う事ができました。また、募金額増額を目指し、各団体、ボランティアグループに対して赤い羽根共同募金の配分金が活用されていることの明示を依頼するなど、啓発活動の充実を図りました。

〔 課 題 〕

事業が再開、拡大されることが想定される中、募金額は減少する一方です。そのため、引き続き赤い羽根共同募金の啓発活動についてより強化していく必要があります。また、年度の早い時期に、助成金受取を希望される団体が多いため、迅速な事務処理を目指します。

(1) 地域福祉・ボランティア活動助成審査会の開催

参集型の審査会開催が困難なため、書面審査を行いました。

(2) 学区社協活動助成の交付

①学び合う活動（広報・啓発・懇談会等）	712,000 円
②ふれあう活動（地域交流活動・居場所サロン）	1,195,000 円
③支えあう活動（寝具クリーニング・配食サービス）	926,110 円

(3) 社会福祉団体助成基準に基づく活動助成の交付

(4) ボランティア・市民活動グループへの活動助成の交付

山科少年補導委員会（醍醐地区）	伏見区交通安全推進委員会連合会	伏見区老人クラブ連合会
伏見区身体障害者団体連合会	京都手をつなぐ育成会伏見支部	伏見区地域女性連合会
伏見少年補導委員会	伏見保育士会	醍醐保育士会
伏見区ひとり親家庭福祉連合会	伏見区保護司会	伏見区遺族連合会
伏見区更生保護女性会	伏見区体育振興会連合会	
手話サークル ともだち	醍醐朗読ボランティアの会 ひびき	ボランティア ねこの手
京都 YMCA こおろぎ	ぶどうの会	要約筆記サークル かたつむり
点訳サークルてんてん	花水木の会	

助成総額 970,000 円

社会福祉法人 京都市伏見区社会福祉協議会

〒612-8318

京都市伏見区紙子屋町 544 番地

京都市伏見社会福祉総合センター2F

T E L 075 (603) 1287

075 (604) 6541〔相談専用〕

F A X 075 (603) 4532

醍醐分室

〒601-1375

京都市伏見区醍醐高畑町 30-1

京都市醍醐老人福祉センター内

T E L 075 (575) 2070

F A X 075 (573) 8314